

く現はして居る。その意味で興味が深かつた  
です。淨瑠璃はやつぱりきわものでは駄目だ  
といふ事を如實に物語つて居るものでせう。  
鴻池 今頃三勇士を見ても淨瑠璃として観客に  
同情の念が起りませんね。やはり作が悪いの  
でせう。

(をはり)

## あごがき

第十一劇評集のあとがきを讀んで、又病氣か  
と言ふお見舞を大分頂きましたが、あれは「建  
設の明暗」上演當時に病氣だつたから見なかつ  
たと言ふ斷り書だから、決して御心配下さらぬ  
やう。私目下健康です。

扱、今回は新野敏一氏に「大佛開眼」を中心  
とした原稿を頂戴しました。氏は東京市勤務で、  
演劇史研究家、能樂、新劇等、あらゆる部面に

精通して居られます。

岡田氏から叮嚀な原稿を頂き、恐縮してゐま  
す。標題の添書は、内容を讀めば判るので、勝  
手ながら省略させてもらひました。御容赦願ひ  
ます。

鴻池氏と文樂の合評をしました。一つの試み  
ですが、成功不成功は大方の御批判に俟ちたい  
と思ひます。唯二人の批評の仕方の差異が、更  
に高い批評に結合してゐはしないかと考へるの  
ですが。

第十一劇評集に發表した「美少女に」の詩が、  
方々で評判がよいのですが、あれは苦しまぎれ  
に舊作を發表したので、私として自信のないも  
のです。それが評判がよいとなると、作者が悪  
いのか、讀者が悪いのか——今、そんなことを  
考へてゐます。